



ニッケンスクール

高典塾 だより

平成16年6月号(1)

塾長 浦口こうてん

TEL090-3268-7699

E-mail uraguchi@nnc.or.jp

(何かありましたらいつでもご連絡下さい。)

「元氣な和歌山人をつくるために!」週三回(月・水・金曜)午後六時~七時
まで、汗まみれになってこちらにも(本気で)頑張っています。少しでも体を動か
したい方や子どもさんに習わせたい方がいらっしやいましたら、どうぞお気軽に
大浦街道のレストランガスト北隣の塾道場まで見学にお越しください。
日本拳法協会 師範 浦口こうてん

高典塾のみなさまへ

昨日、3月26日(金)の練習に顔を出さなかったことをあやまりたいと思います。本来ならお世話になった先輩方にお礼の一つ言わなければならぬのに、うっかりしてました。本当にすいませんでした。

僕はもう3月29日(月)の朝から大阪に向かい、その日からむこうで暮らすことになります。

大阪に行く前になんとかお礼がいたいと思い、手紙を書きました。

高典塾では多くのことを学びました。倒されても向かっていく根性、一つのことを何度も繰り返すことの大切さ、そしてなにより日本拳法の深さ、楽しさを学びました。相手に勝った時の喜びや、負けた

時のくやしきは、自分を鍛え自分を前に出す勇気をくれました。

しかし、日本拳法は一人ではできません。相手がいて初めてなりたつ格闘技です。それをはずかしながら僕は忘れていました。お世話になったことにお礼を言っていないことが心残りですが、大学でしっかりがんばります。本当に今までありがとうございました。

圭次郎

(—は筆者)

一般部塾生に宛てた玉置圭次郎君(和歌山東高卒)の手紙

4月から道場に久しぶりに立ち、指導しながら改めて考えることがあります。それは、この道場で塾生(ここでは、少年部)をどのように育ててきたかということです。10年余り前に『さわやかなたくましい子どもづくり』という看板を掲げ、わずかな貯えを全てはたき自前の道場を開設し、学生時代から情熱を持ち続けてきた日本拳法の指導を始めました。しかし、実際のところは、毎回試行錯誤の連続で、決してその理想通りに子どもを育ててこれたわけではありません。そのような中で、**小学2年生より拳法を続けてきた玉置圭次郎君**が、この春、「日本拳法」を特技とするアドミッション・オフィス(AO)入試(いわゆる一芸入試)で**名門・関西大学に合格**したことは、私にとっても大きな喜びであり、今まで道場として創り上げてきた価値観を確かなものにしてくれました。それは、彼が大学に合格したということよりも、両親も驚くほど**人間的に大きくたくましく成長**してくれたことです。玉置君は最初から決して強い子ではなく、どちらかというとい弱なおとなしい子でした。それが続けることによって(上の手紙にある「一つのことを何度も繰り返すことの大切さ」を実感することによって)、見違えるように成長しました。

今まで塾生の保護者の中には、日本拳法を単なる「お稽古ごと」のひとつにとらえ、子どもが中学生になった途端に退塾させる方もいますが、たとえ週1回でも高校を卒業するまで拳法続けませんか?もちろん、玉置君のように「**日本拳法で大学へ**」(誤解のないようにいっておきますが、彼は高校では真面目に勉強にも取り組み、成績は常にトップクラスでした。決して拳法だけで大学に合格したわけではありません。)とっているのではなく、続けることによって本当に大きくたくましくなることをはっきりとご認識頂きたいと思います。また今後は、段位においても皆んな**黒帯を目指し**、中学2~3年で**少年部初段**(高校より一般部になるため2級に)、高校3年で**一般部初段もしくは、二段を取得**できるようにしていきたいと考えております。とにかく続けることが、**大きな自信と成長**につながりますし、これからの「**人生基盤づくり**」であるといっても過言ではありません。

6月は、月・水・金 全日休まず指導致しますが、6月議会(6/7~6/23)のため、急用ができることがあれば事前に連絡させて頂きしますので、よろしく願い申し上げます。

〈今後の試合の予定〉

- ◎ 全日本拳法高校生・小中学生選手権大会 8月8日(日) 東京武道館
 - ◎ 日本拳法道場交流大会(小学生から一般まで) 8月22日(日) 和歌山市立松下体育館
- 出場する意欲のある塾生は、早いうちにご連絡ください。—